

ラグビー 姫野和樹（ひめのかずき）様

怪我の再発防止に対するアプローチ方法が素晴らしかった

これまで、いつも怪我に悩まされてきました。もちろん怪我をしないことが一番ですが、帝京大学の岩出監督も常々「怪我が成長を止めてしまう」のがアスリートにとっては大きな問題です。帝京大学スポーツ医科学センターのサポートでは、スタッフの迅速な対応と判断が良く、特に私の怪我には、再発防止に対するアプローチ方法が素晴らしかったことを記憶しています。

また、新しくなった帝京大学スポーツ医科学センターの施設では、最新といえますか、衝撃波だったり、他の大学にはないような治療器具が揃っていたので、本当に環境としては素晴らしいですね。今は昔のようにラグビーを40歳まで現役でやるというのは難しくなっていると思います。しかし、まずは自分の体に無理をさせないこと、そして最新の医科学サポートを受ければ、この選手寿命は少しでも伸ばせると考えています。

私の目標として、まずはしっかりトップリーグで結果を残すこと。トヨタで優勝したいという僕の夢がありますし、現在日本代表にも選出して頂いて、2019年のワールドカップ、そして2023年のワールドカップにも必ず出場したいと思っています。そのためにも、しっかりと自分の体をモニタリングして無理をしない、ハードな練習をしたならハードなケアするなどを徹底して、しっかり自分の選手寿命というのを逆算しながらやっていけたらいいと思っています。

